

社会福祉法人 不動園 のぞみこども園 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 令和8年度

法人基本理念(保育理念)			感動そして共感と信頼		保護者や子どもから信頼され、安心して預けられ安全に過ごせる保育園を目指す。個々の子どもの成長を喜ぶ。			
教育及び保育の目標			心身共に健やかに育ちながら 将来社会の一員として 生活していくための土台となるいろいろな能力や豊かな人間性が身につくよう 一人ひとりを 受けとめ 育む・教育・保育を目指す。					
目指す子どもの姿			○心身共に健康な子ども ○思いやりのある子ども ○自分で考えて行動できる子ども ○元氣よく友達と遊ぶ子ども ○興味・関心・意欲を持つ子ども					
教育・保育に置いて育みたい資質能力			①豊かな体験を通して、感じたり、気づいたり、分かったり、できるよになったりする (知識及び技能の基礎) ②気づいた事やできているようになった事などを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする (思考力、判断力、表現力等の基礎) ③心情、意欲、態度が育つ中で、より良い生活を営もうとする (学びの向かう力、人間性)		幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現			
発達支援の姿	概ね6ヶ月未満	概ね6ヶ月から1歳3ヶ月未満	概ね1歳3ヶ月から2歳未満	概ね2歳	概ね3歳	概ね4歳	概ね5歳	概ね6歳
	・著しい発達 ・生理的機熟から社会的機熟へ	・座るから歩くへ ・活発な探索行動 ・言葉と人見知り ・言葉の芽生え ・離乳の開始	・一語文から二語文へ ・言葉の習得 ・行動範囲の拡大 ・周囲の人への興味・関心	・二語文から多語文 ・依存と自立 ・基本的な運動機能 ・自己主張	・友だちとの関わり ・ごっこ遊びと社会性の発達 ・言葉の発達 ・運動機能の高まり ・基本的な生活習慣の形成	・身近な環境への関わり ・身体的能力の広がり ・全身のバランス ・運動機能の高まり ・自己主張と他者の受容 ・仲間の中の1人としての自覚	・基本的な生活習慣の確立 ・運動機能の高まり ・目的ある集団行動 ・思考力の芽生え ・仲間の中の1人としての自覚	・思考力と自立心の高まり ・巧みな全身運動 ・自主と協調の態度 ・図形・数量・文字への関心 ・道徳心・規範意識の芽生え
保育目標	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
	・特定の保育者との情緒的な絆を深める。	・安心できる保育者との関係の下で、身近な人や身の回りの物に親しみ、自ら関わりを持つとする。	・つもり遊びやごっこ遊びを楽しむ中で、身近な人との関わりを広げる。	・保育者や友だちと遊ぶ中で、自分の好きな遊びが見つけたり遊びを深める。	・保育者や友だちと一緒に遊びながら、喜びを広げ、集団としての行動ができるようになる。	・生活や遊びの中で1つの目標に向かい、力を合わせて活動し、達成感や充実感をみながら味わう。		
養護	生命の保持	生活リズムの形成を促す						運動と休息のバランスと調和を図る
	情緒の安定	温かなやり取りによる心の安定を図る						自己の肯定と他者の需要の気持ちを知る
ねらい・内容	健康な心と体	○生活リズムを安定させ、生理的・精神的な欲求を満たされ生命の保持・生活・情緒の安定をはかる。 ○全身運動(走る・這う・立つ・つたい歩き・くぐる・爬う・引く・這う)など発達に促し、自ら身体を動かそうとする意欲を持つ。						○遊びの経験を広げ、バランスをとる動きが巧みになり、全身を使いさまざまな道具や遊びなどに挑戦して遊ぶ。 ○自他との比較により生まれるさまざまな驚きや感動に気づき、受け入れられる中で、他者の理解し、折り合いをつける力を身につけていく。
	身近な人との関わり	○受容的・応答的な保育者との関わりを通して、気持ちの通う心地よさを十分に感じ、信頼関係の基礎を築く。						○遊びや生活の中で、気の合う友だちと関わり楽しく過ごす。同じ遊びをしている友だちとイメージを共有して遊ぶ。 ○いろいろな経験を通して生活に必要な言葉を身につける。 ○身近な人や地域社会に関わりを深める中で、社会生活のまじりや習慣を身に付ける。
食育(食生活の基盤)	身の安全	○身の安全を確保し、身の安全を確保する。						○身近な社会や自然に興味や関心を持ち、発見を楽しんだり考えたりする。 ○身近な環境や季節に関わり発見したり考えたりする中で、物の性質や数量・文字への感覚を養う。
	食事	○自然物(砂・水・泥)やさまざまな素材・生活用品・玩具・手存り玩具(ぼろ・どんぶり・ひしほりおもちゃ・積木・粘土など)と触れ合いながら興味や関心を持ち、見たり、触ったりして、指先を使った遊びを楽しむ。						○身近な環境に親しみ、触れ合う中で、イメージや思いを自分なりに描いたり、作ったりすることを楽しむ。 ○歌や簡単な合奏をみながら楽しむ。
園の特徴								
●月曜～土曜 7時～19時の保育 ●園バスによる園外保育(2歳児・おおよそ隔週、3～5歳児、週1回) 行き先 太陽が丘、漢果公園、八幡市民スポーツ公園、大吉山、久御山中央公園、市内各地の公園) ●安田式運動遊び ●HANA音楽研究所による音楽あそび								
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
	・ゆったりに着いた雰囲気の中で、食べる事を楽しむ程に楽しむ。	・ゆったりに着いた雰囲気の中で、食べる事を楽しむ程に楽しむ。	・ゆったりに着いた雰囲気の中で、食べる事を楽しむ程に楽しむ。	・ゆったりに着いた雰囲気の中で、食べる事を楽しむ程に楽しむ。	・ゆったりに着いた雰囲気の中で、食べる事を楽しむ程に楽しむ。	・ゆったりに着いた雰囲気の中で、食べる事を楽しむ程に楽しむ。	・健康で食べ物の栄養(3食食品)の調度と食材について興味や関心を持ちつつ、楽しく食事ができる。	
発達支援	食育(食生活の基盤)	・色々な食べ物を、見る・触る・味わうことを楽しむ。自分で食べたいという気持ちや大切にしながら楽しく食べる。		・手づかみになりながらスプーンを使って自分で食べる。また、スプーンを使って自分で食べる。よくなる。		・野菜の栽培や収穫などの体験を通して興味を深め、成長を楽しみにする。 ・クッキングを通して食材に触れる事で食べるの興味や関心を深める。 ・野菜の栽培や収穫体験などの学習を通してすべての命を大切にすることを持つ。		
	発達支援	○配慮を必要とする園児の理解や特徴の把握を行うとともに、個々の指導計画を作成する(3期に分けて計画を立てる)。 ○指導計画に対しての振り返りを各期ごとに行う(あゆみ)。 ○各保育施設や宇治市保健推進課、保育支援課と連携し共通認識を持つとともに、その都度、支援計画の見直しをする。 ○常に保護者とはコミュニケーションを図り、支援についての共通理解を行う。 ○就学前には、就学先の学校に、成長や発達について丁寧に繋げる。		家庭との連携		○園と家庭との、日々のコミュニケーションを通して、信頼関係を育む。 ○個々の子どもの発達、家庭環境などの共通理解を通して、子どもの成長の土台となるいろいろな能力や豊かな人間性が育まれるように家庭と協力する。 (方法) ○送迎時の対話 ○連絡帳 ○園だより ○各クラスのドキュメンテーション ○個人懇談会(幼児組) ○クラス懇談会(年2回) ○子育て相談(随時) ○発達相談(随時)		
保健	保健目標	○園生活のリズムを身につける ○自分の体に興味を持つ ○元氣いっぱい体を動かして遊ぶ ○怪我なく安全に過ごす ○風邪や感染症を予防する ○自身の成長を振り返る		安全対策 事故防止		環境・衛生管理 ○毎月の衛生点検(玩具・施設内) ○室内・玩具の徹底清掃 ○その他の園内清掃の徹底(エアコン、空気清浄機等含む) ○感染症対策の徹底(オゾン消毒の実施、食器消毒の徹底) ○害虫駆除		
	家庭との連携	○園と家庭との、日々のコミュニケーションを通して、信頼関係を育む。 ○個々の子どもの発達、家庭環境などの共通理解を通して、子どもの成長の土台となるいろいろな能力や豊かな人間性が育まれるように家庭と協力する。 (方法) ○送迎時の対話 ○連絡帳 ○園だより ○各クラスのドキュメンテーション ○個人懇談会(幼児組) ○クラス懇談会(年2回) ○子育て相談(随時) ○発達相談(随時)		健康支援		環境・衛生管理 ○毎月の衛生点検(玩具・施設内) ○室内・玩具の徹底清掃 ○その他の園内清掃の徹底(エアコン、空気清浄機等含む) ○感染症対策の徹底(オゾン消毒の実施、食器消毒の徹底) ○害虫駆除		
小学校との連携								
地域との連携								
子育て支援								
研修計画								
○法人施設による適切な施設運営管理の計画 ○年度末の全体総括と次年度への反映 ○スキルアップ支援制度による自己評価・人事考課 ○保育教諭の自己チェックリストの実施、人材確保のためのセルフチェック実施								